

平成28年度事業計画

1. 地域における産学官交流の促進・支援

①地元企業サポート活動	・ 会員企業等への個別訪問相談	随時
②異業種・異分野交流会の実施	1) 「えひめ5：30倶楽部」の開催 2) 研究協力会交流事業	1) (3回/年) 2) 不定期
③広報活動	1) 研究協力会パンフレットの配布 2) メールマガジンの送付 3) ホームページの充実	1) 随時 2) 1回/月 3) 随時

2. 研修会・セミナーの開催支援、研究部会の活動

①研究シーズの社会還元	・ 成果発表会の実施	資料なし
②知的財産権に関する意識向上	・ 知的財産権関連セミナーの開催	随時
③具体的テーマへの対応	・ 研究部会による活動	資料1
④次世代産業技術・知識の提供	・ 愛媛大学ものづくり基盤技術担い手育成研修(テーマ検討中)	資料なし

3. 社会連携推進機構が行う事業への支援

①自治体，地域企業，地域金融機関などとの連携強化に向けた取り組み
②技術連携，まちづくり，地域防災，水産業振興に関する各種シンポジウム，フォーラムの企画開催
③科学技術相談や共同研究，受託研究を通じた地域の活性化
④知的財産の創造・運用に関する取り組み
⑤産学連携スタートアップ事業の促進(資料2)

研究部会による活動

地域情報化研究部会

- 【目的】情報処理技術，情報通信技術を活用し，地域の情報化を推し進めることで，地域におけるQOL(生活の質)向上や企業活動の活性化に寄与することを目指す。民間企業，自治体，政府などと協力し，単なる機器にとどまらず，アプリケーションサービスに至るまでの幅広い課題の発掘，開発，実用化について検討・研究を行う。
- 【活動計画】平成27年7月17日～18日(えひめITフェア2015)
- 【代表者】大学院理工学研究科 教授 小林 真也

四国組込ソフトウェア研究部会

- 【目的】半導体集積回路と組み込みソフトウェアからなるシステムLSIは，情報社会の基幹産業として今後も発展が見込まれる分野であり，製造技術中心の産業から，企画・設計技術が付加価値を与える産業への発展の中核を担う技術である。本研究部会は，システムLSI等への組み込みソフトウェアに関する勉強会を行い，地域産業の高度化に寄与する。
- 【活動計画】4回程度／年
- 【代表者】大学院理工学研究科 教授 高橋 寛

アーバンデザイン研究部会

- 【目的】今後の松山のまちづくりを考える上で，重要なテーマ別勉強会や，シンポジウム・フォーラム等を開催しながら，質の高い空間をデザインするために何が必要か，今後の松山をどのようにデザインにしていけるべきか，幅広い議論を行い，それらを基本としながら具体的な構想等の研究・提案・実施をする。
- 【活動計画】10回程度／年
- 【代表者】防災情報研究センター 教授 曲田 清維

食品機能研究部会

- 【目的】食品の持つ機能性について，アレルギー抑制活性，抗ガン活性，抗酸化活性等について幅広く調査を行うとともに，セミナーや企業とのディスカッションを行い，食品関連産業の発展に寄与する。
- 【活動計画】3回程度／年
- 【代表者】農学部 教授 菅原 卓也

優しい福祉工学研究部会

- 【目的】ユーザー及び環境に優しい，US(ユニバーサルデザイン)に配慮した電動車の研究開発を行う。
- 【活動計画】2回程度／年
- 【代表者】大学院理工学研究科 教授 柴田 諭